平成 20 年 2 月 28 日

各　　位

会社名　　ダイキサウンド株式会社
代表者名　　代表取締役社長　嵯峨　芳春
（JASDAQ・コード番号：３３５０）
問合せ先
役職・氏名　取締役管理部長　奥薗 慶久
電話　　０３―５７９１―１７６６

平成 20 年 8 月期通期・中間期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 10 月 29 日付け当社「平成 19 年 8 月期決算短信」にて発表の平成 20 年 8 月期通期・中間期（連結・個別）業績予想について、下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1.　平成 20 年 8 月期 通期・中間期 連結業績予想の修正

(1) 修正内容

① 通期（平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日）

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	4,490	128	119	116
今回修正発表（B）	4,130	△187	△176	△68
増減額（B－A）	△359	△315	△295	△184
増減率	△8.0%	―	―	―
(ご参考)前期実績(平成 19 年 8 月期)	4,111	△1,003	△1,005	△1,769

② 中間期（平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	2,086	△18	△23	△24
今回修正発表（B）	1,963	△160	△147	△37
増減額（B－A）	△122	△142	△124	△13
増減率	△5.9%	―	―	―
（ご参考）前年同期実績（平成 19 年 8 月期中間期）	1,891	△490	△507	△869

(2) 中間期連結業績予想の修正理由

① 売上高

主力事業の音楽CD販売において、通販サイト向け等の出荷については順調に伸び、ほぼ計画通りに推移しました。一方、第2四半期間で特約店の販売不振の影響等により当該特約店からの返品額が計画比49.5%増、影響額53百万円と想定外に増加したこと、及びメディア事業においても、当初予定していた広告契約が不調に終わり計画比67.0%減となったこと等を要因として、当初2,086百万円と予想していました売上高は、計画比5.9%減、金額にして122百万円下回る1,963百万円となる見込みです。

② 営業利益

営業利益の下方修正の主な要因は以下の通りです。

a. 音楽CD販売の粗利益率低下
音楽CD販売は返品額が計画値を大幅に上回ったこと等で、粗利益率が1.3%ポイント低下、影響額は42百万円となりました。

b. メディア事業で、新規広告主の開拓の不振等による売上未達による粗利益率への影響額が35百万円となりました。また、モバイル配信関連ではダウンロード数が計画値より8.3%増加したものの、配信音源の変換作業の関連費用が計画値より増加したことで27百万円の影響となりました。

c. 一般管理費が、人件費及び外部委託費等固定費の削減効果が下期以降にずれ込んだことで、金額にして22百万円計画値を上回りました。

以上により当初18百万円と予想していた営業損失は142百万円増加し160百万円となる見込みです。

③ 経常利益

経常利益の下方修正の主な要因は上記②の営業利益の修正によるものです。

当初23百万円と予想していた経常損失は124百万円増加し147百万円となる見込みです。

④ 当期純利益

当期純利益は、本日付け当社「子会社の譲渡及び特別利益の発生に関するお知らせ」に記載のとおり株式譲渡により連結子会社の売却利益99百万円を特別利益として見込んでいるものの経常利益減少を受けて、当初に24百万円と予想していた中間期純損失は、13百万円下回る37百万円となる見込みです

(3) 通期連結業績予想の修正理由

下期に向けて、事業の集中を進め、音楽CD販売の収益率の向上や人件費及び外部委託費等固定費等のコスト削減努力により、業績は粗利益で中間期見込みより改善する予定です。しかしながら事業環境は当中間期同様に厳しい状況が想定されるため、通期の業績予想を修正いたします。

2. 平成20年8月期 通期・中間期 個別業績予想の修正

(1) 修正内容

① 通期（平成19年9月1日～平成20年8月31日）

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	4,419	102	92	90
今回修正発表（B）	3,978	△168	△168	△54
増減額（B－A）	△441	△270	△260	△144
増減率	10.0%	－	－	－
(ご参考)前期実績(平成19年8月期)	3,975	△861	△856	△1,823

② 中間期（平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）

単位：百万円

	売上高	営業損失	経常損失	当期純損失
前回発表予想（A）	2,138	△6	△11	△12
今回修正発表（B）	1,932	△134	△121	△16
増減額（B－A）	△205	△128	△110	△4
増減率	△9.6%	－	－	－
(ご参考)前年同期実績（平成 19 年 8 月期中間期）	1,810	△413	△407	△820

(2) 中間期個別業績予想の修正理由

中間期個別業績予想の修正理由は上記１．(2) に記載の中間期連結業績予想の修正理由とほぼ同様です。

(3) 通期個別業績予想の修正理由

通期個別業績予想の修正理由は上記１.(3)に記載の通期連結業績予想の修正理由とほぼ同様です。

※ 上記の予想は、発表日現在で入手可能な情報で作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上